

津田サイエンスヒルズ まちづくり協議会ニュース

発行所
津田サイエンスヒルズ
まちづくり協議会
〒573-0128
枚方市津田山手2-1-1
吉泉産業(株)内
TEL (072)858-5901
FAX (072)858-5904
(題字:墨アーティスト 桶笠幸三書)



(仮称) 技専校の完成イメージ



8月現在、工事が急ピッチで進行

平成25年4月、津田サイエンスヒルズに大阪産業の発展を支える「若者ものづくり人材」を育成する場として新たに(仮称)大阪府立北大阪高等職業技術専門校が誕生する。

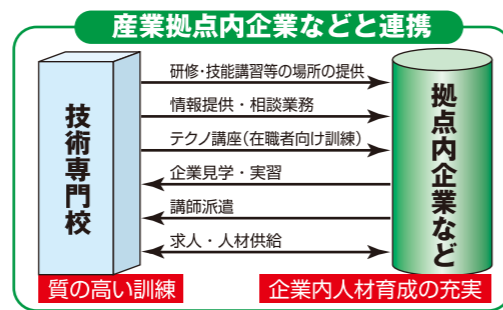
核施設として機械系、電気・電子系、建築系分野の人材育成、在職者に対する技能向上のための職業訓練を実施する。

は機械加工技術者を
目指す。
産業ロボットシステム科では機械制御技術者を
目指す。
組込みシステム科では組込み制御技術者を
目指す。
ものづくり基盤技術科では金属加工

津田サイエンスヒルズに 新たな府立技専校が誕生

来春4月開校へ

- 技術者を
目指す。
- 建築設計科では建築技術者を
目指す。
- 住宅設備新エネルギー科では住宅設備技術者を
目指す。
- 住宅リフォーム科では住宅リフォームの施工技術者を
目指す。
- ワークトレーニング科では知的障がいのある方を対象に木工作业や物流作業、事務補助を通じて就労するため



津田ヒルズ立地企業は企業見学・実習の受け入れ、経営者の講師派遣などで双方に質の高い訓練と企業内人材育成の充実などの成果が期待される。

津田ヒルズと技専校との 連携を図り、双方にメリットを

第5回 ボーリング大会

43チーム 166名参加

5月11日 牧野松園ボウルにて

団体戦で優勝した
アスクAチーム



個人戦優勝
長倉誠氏



ボーリング大会成績表

団体戦	優勝	アスクAチーム (長倉誠、松岡、町田)
	準優勝	河内金属製作所Aチーム (高橋、前田、松迫、平佐)
	3位	アスクBチーム (長倉誠、加藤、井上)
個人戦	優勝	長倉 誠(アスク)
	準優勝	町田祐一郎(アスク)
	3位	松岡 社(アスク)

津田サイエンスヒルズ杯第5回親睦交流ゴルフ大会を5月19日枚方国際ゴルフクラブで開催した。この大会にはまちづくり協議会の経営者・従業員6組22名が参加した。今回は今までのハンディキャプの平均値と歴代優勝者は更に1割カットなど下位

ゴルフ大会成績表

優勝	佐々木 啓子 (吉泉産業)
準優勝	山根 正行 (高園産業)
3位	山下 篤哉 (アスク)
4位	植田 守 (植田工業)
5位	青谷 忠昭 (吉泉産業)

の方でも上位になれるように新しいハンディを取り入れた。

晴天に恵まれ、
6組22名が参加



このQRコードからも申し込みができます。

第5回 親睦交流ゴルフ大会

5月19日 枚方国際G C



アンタメーン「くらコン」が
1月3日(土・祝)に
開催されます。

昨年より年3回行われている「ひらコン」をご存知ですか?街ぐるみで行われる大型の合コンイベントの事です。参加者は同性2名以上で1組となり、複数のオシャレな飲食店を廻って、各店舗の食べ物、飲み物を楽しんでいただきます。男性と女性は逆向きに回りますので、色々なお店でたくさん異性と気軽にメールアドレスの交換などをして気の合う方と出逢うことができます。午後2時から午後6時迄の4時間。幸せなカップルがどんどん誕生しています。

主催…枚方婚活推進実行委員会
後援…枚方市

津田サイエンスヒルズ掲示板

アンタメーン「くらコン」が
1月3日(土・祝)に
開催されます。

【森下仁丹株式会社 大阪テクノセンター】



代表取締役社長 駒村 純一氏

技術のコアを生かし 未知の分野にも挑戦

森下仁丹は創業者の森下博氏が1893年(明治26年)大阪市で立ち上げた。もともと薬種問屋として営業を開始し、生薬をベースに抗菌剤などを幅広く手がけるようになった。1905年から愛され続けている「仁丹」で広く知られている。現在はその「仁丹」のコーティング技術を応用し、最先端のシームレスカプセル(継ぎ目のないカプセル)の受託製造と、東大教授の協力を仰いだビフィズス菌を使用した健康食品「ビフィーナ」、医薬



経営本部 本部長 長野 敏也氏

高園テクノロジ株式会社

津田ヒルズ立地企業を訪ねる

当エリアに入居している企業の業務内容や社会的意義を順次紹介

分機技術を武器に 海外進出を視野に前進 津田ヒルズの入居企業である高園産業グ

ループの「研究開発部門」という位置付けで設立された高園テクノロジ株式会社。主に医療機関への薬科機器(分機機等)を開発・製造・販売するメーカーとして、シェアは国内トップを誇る。「弊社の強味の一つはお客様の立場に立った使い勝手の良さを追求し

ている点にあります」と長野敏也経営本部長。顧客は病院や薬局などの薬剤師。最終顧客は患者となる。女性が多い職場ということもあり、操作性が良くデザインにもこだわりを持つというユニバーサルデザインに特徴がある。デザインの推奨制度である「グッドデザイン賞」も4商品受賞している。

またフィールドエンジニアでのサービス網を全国に配置し、カスタマーサポートセンターを設え24時間体制で顧客対応しており「連絡があればすぐに対応できる体制」を全国的に整備した。今後は海外展開により一層注力する予定だ。「中国、アメリカを中心に戦略を練っています。今後はさらに会社の知

品などの製造販売が主力事業となっている。しかし、ここに至るまでの道は決して平坦だったわけではない。「昭和40年代後半までは仁丹が主力でした。しかし一気に西洋文化

が入り、価値観が変わり、売れなくなりました」と話すのは同社の代表取締役社長 駒村純一氏。その後は社会の健康志向にいち早く着眼。健康食品の開発に力を注ぎ、現在のよう

「大事なものは自分たちのコア技術を大切にすること」という駒村社長のもと、まったく違う分野への挑戦も始まっている。希少金属であるレアメタルを吸着する微生物を閉じ込めたカプセル開発に取り組みなど、老舗企業のチャレンジからも目が離せない。



ホームページ

津田サイエンスヒルズ まちづくり協議会 ホームページアドレス <http://tsuda-science.jp> メールアドレス matiky@tsuda-science.jp

名度も上げていきたいですね(長野本部長) 海外では薬は粉末ではなく錠剤タイプのものが多い。その文化や風習の違いこそ、ビジネスチャンスがあると捉えている。



24年度まちづくり協議会 総会開催

津田サイエンスヒルズまちづくり協議会の平成24年度総会が去る4月25日吉泉産業株式会社会議室にて開催された。

当日は来賓として枚方市長竹内脩氏、大阪府商工労働部雇用推進室長乾俊人氏、当会



総会で挨拶される竹内枚方市長

顧問の前大阪府議会議員鈴木和夫氏、前枚方市議会議員出井宏氏を始め大阪府、枚方市の各担当者の方々も出席した。総会では23年度の会計報告・事業報告、24年度の事業計画・予算計画などが事務局から説明され、原案通り承認された。続いて報告案件として来春開校の府技専校について、乾室長から説明と地元津田ヒルズとの連携についての協力依頼があった。

さらに京阪バスの津田サイエンスヒルズ線について、津田駅東口からの小型バスと河内磐船駅から大型バス運行の路線再編計画について河本枚方市都市整備推進室長から説明があった。

対談

森下仁丹(株)駒村社長と津田ヒルズまち協佐々木会長



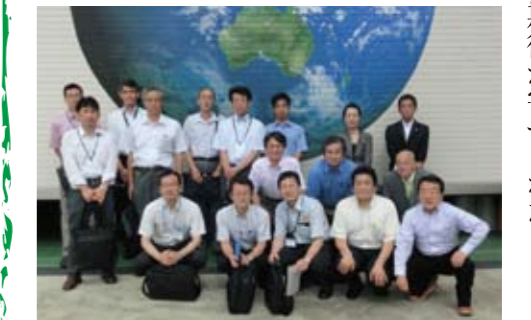
佐々木 ます、津田ヒルズに入居された経緯からお聞かせ下さい。駒村 弊社は滋賀県

の彦根に工場を持っており、本社が大阪市中心部に位置している。津田は中間点に当たり、物流の面でメリットがあると考えました。また当時は第二京阪道路の完成も迫っており、機動的な面からも立地に積極的になりました。うちの場合は規模的にそんなに大きなスペースは必要のない開発志向でしたから、他の場所と

色々比較検討した結果、環境と利便性でこちらに決めました。それと府の助成金がつく、ということもありましたね。佐々木 進出効果はいかがですか? 駒村 以前の本社横の古い工場からの機能移転ということで環境的には良くなってきています。同時に色んなテーマが出てきましたね。

津田ヒルズを 技専校関係者13名視察

いよいよ来年4月北大阪技専校が開校することになり、当協議会との連携が更に重要となってくる。府雇用推進室長乾俊人氏を代表として、関係者13名が技専校の訓練科目に該当する企業8社を選び、企業見学に訪れた。見学者はホームページなどで企業内容を事前に調べ、ものづくりの現場を中心に専門的見地から熱心な質問があった。企業側からは「企業のニーズにあった訓練生であれば採用



株式会社サワーコーポレーション前にて

したい」など技専校に対する期待が寄せられた。